

事業所名

瑞浪市子ども発達支援センターぼけっと

## 児童発達支援・支援プログラム

作成日

6年

12月

1日

法人（事業所）理念		一人一人の個性を大切に、子どもたちが健やかに成長し、地域で自立した生活を送るための支援を行います。		
支援方針		対象児の自立の促進、生活の質の向上等を図ることができるよう、対象児の発達の特性や生活環境等に応じて、日常生活における基本的な動作の支援、集団生活への適応支援を適切に行います。		
営業時間		月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	*健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得を目指した支援を行います。 ・家庭と連携し、健康で安定した生活が送れるよう、支援方法を共有します。来所時に健康状態や生活リズムについて確認します。 ・個々の発達状況に合わせ、排泄、衣服の着脱、食事動作等、生活に必要な基本的技能が習得できるよう支援します。		
	運動・感覚	*日常生活に必要な、姿勢と運動、動作の基本的技能の向上を目指した支援を行います。 ・様々な運動遊びを楽しみながら、バランス感覚や協応動作、力の強弱等、自分の体をコントロールする力を育てます。 ・個々の特性に配慮しながら、感覚を刺激する遊びを行います。様々な感覚を統合的に経験し、活用することができるよう支援します。		
	認知・行動	*遊びや体験を通して、認知機能の発達を促すことで、周囲の環境から必要な情報を正しく受信・選択し、それに基づいて行動できるよう支援します。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して情報を収集し、行動に繋がられるよう支援します。環境の適切な認知と場面に応じた行動の習得ができるよう支援します。 ・主体的な活動を通して遊びを深め、様々なことへの関心を広げることで、数や色、形、大きさ、時間などの様々な概念の理解を促していきます。		
	言語 コミュニケーション	*個々の発達に応じた様々な表現方法を用い、心地よいコミュニケーションを楽しみながら、具体的な関わり方を身に付けられるように支援します。 ・ことばや身振り、発声や表情、視線等、様々な表現をしっかりと受け止め、応答的に関わることで、コミュニケーション意欲や表現意欲を高めます。 ・遊びや活動の中で様々なことばに触れる環境を設定し、ことばの理解を広げます。具体的な場面で、表現・伝達方法のモデルを提示し、コミュニケーション手段の獲得に繋がります。		
	人間関係 社会性	*遊びや実体験等の活動を通して人との交流を楽しむことができるようにし、集団参加や仲間づくりに向けた支援を行います。 ・大人との安定した信頼関係を形成し、それを基盤に友だちや周囲の人とのコミュニケーションに向かう気持ちを育てます。 ・友だちとの場の共有や、小集団への参加を通して、参加のルールや約束、具体的な関わり方のスキルなどを学べるようにします。参加の成功体験を積むことで、適応意欲に繋がります。		
家族支援		支援終了後に、家庭での様子や園等、集団生活の様子について話し合い、生活の中での困りごとや心配事について相談援助ができるようにします。 親の会での、保護者同士の繋がりや情報交換、学習会等の開催を支援します。	移行支援	就園、就学についての学習会や学校見学等、移行先についての情報提供を行います。移行先の関係機関と連携を図り、支援方法等の情報共有を行います、継続した支援ができるようにします。
地域支援・地域連携		瑞浪市こども家庭課、保健センター、幼児園・保育園、小学校や特別支援学校等、関係機関との連携を図り、適切な支援に繋がります。必要なサービスの情報提供等を行い、地域で安心した生活が送れるよう支援します。	職員の質の向上	自主研究会等を開催し、外部講師や関係機関から支援方法についての助言を受け、検討を深めます。各種研修会・研究会に参加し、発達や支援に関する専門的知識を得られるようにします。
主な行事等		・親子お楽しみ会 ・親子バス遠足 ・夏祭り ・クリスマス会 ・修了式 (体験学習) ・電車体験 ・クッキング活動		